

## 産地改革チャレンジ事業（食と農のチャレンジ事業） 優良事例紹介

◆ 平成26年度事業実施

# JA土浦次世代農業プロジェクトワーキンググループ （土浦市・かすみがうら市）

### 取組概要

## 農業体験・野菜オーナー事業を中心とした 新たな農業ビジネスモデルの構築

◆ 取組区分 販路拡大・輸出, 担い手, 農山漁村活性化

### 事業実施前

土浦市・かすみがうら市地域の畑作は、後継者不足や耕作放棄地の増加などの課題があり、効果的な対策が必要でした。また、流通面ではニーズの多様化が進み、既存の販売方法では頭打ちの状態にありました。

そこで、生産から販売まで一貫した新たな事業を立ち上げるため、意欲ある若手農業者による本プロジェクトチームが結成されました。



耕作放棄地の様子



事業の立ち上げ準備  
(消費動向のアンケートリサーチ)

### 取組の内容

インターネット上に農業体験・野菜オーナー事業の紹介も兼ねた専用の販売サイトを立ち上げ、管理システム運用及び情報発信を行いました。

また、年間を通して行われる農業体験イベント「旬な遠足」を企画・開催しました。開催に当たっては、チーム員で集まり、何度も企画の検討を行いました。



枝豆収穫体験



定例の企画検討会の様子

### 事業費補助を活用した経費

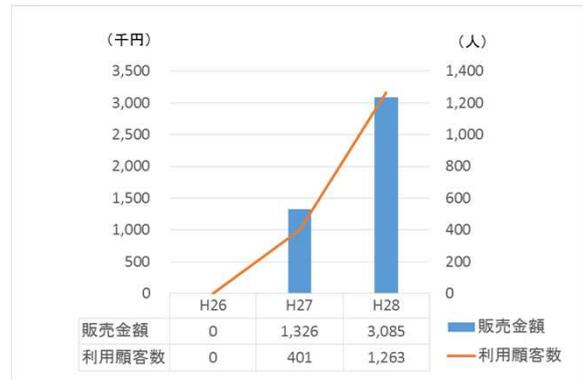
- ・管理システム開発費
- ・情報発信環境整備費

### 取組の成果

農業体験イベントの企画・運営を通し、消費者との交流が深まることで、プロジェクトメンバー自らの経営の見直しに繋がりました。

また、農産加工品の開発、耕作放棄地を活用した体験農園の取組など、地域の民間企業とも連携した新たな社会貢献事業にも発展しています。

これらの取組が評価され、H28年度茨城県青年農業プロジェクト発表・地域活動部門において優秀賞を受賞しました。



販売金額及び利用顧客数の推移



専用サイトトップページ

### 今後について

今後はより本プロジェクトの発展・知名度向上を図るとともに、市や企業・団体とも連携を深め、「都市と農村の交流」をテーマとした地域社会貢献事業にも取り組んでいきたいと考えています。